



工高タイムス

北海道旭川工業
高等学校新聞局

〒078-8804
北海道旭川市緑が丘
東4条1丁目1-1

発行人（局長）
稲留 駿斗
（電気科3年）

祭
高
工
模
擬
店
5
号
援
庇

模擬店

晴天に恵まれ大盛況

「おいしかったよ」に感激



3年
工業化学科

工夫して素早く

工業化学科3年は7名で「ロングポテト」を500円、「チュロス」を300円で販売した。

リーダーの稲場優太君は「模擬店メニューの皆と話し合い、ロングポテトとチュロスに決めた。チュロスは冷凍のものを使用したけど、ロングポテトは手作りで細く絞って揚げるため調理時間がかかるので前日に仕込みをして、素早く提供できるようにした。しかし、揚げた途端にロングポテトが砕けて原型がなくなってしまう。電子レンジで再加熱してもうまくいかず、そこで材料を加え直して調理した。当日はお客様がたくさん来てくれてうれしかった」と語った。

看板を持ち歩き宣伝

電気科2年は7人で「チョコバナナ」を200円で販売した。

リーダーの稲場弥君は「チョコバナナは昨年の模擬店ではなかったけど、今年は作ってみようと思った。氷水を用意できなかったでポールがチョココートでべたべたして、汚したくないものを汚さないようにするのには注意した。最初はあまり売れなかったが、佐藤大河君が看板を持って模擬店の会場を歩いてくれてとても宣伝になっ



2年
電気科

チョコバナナを売る電気科の2年生



3年建築科

焼き鳥を炭火を使って焼く建築科の3年生

調理が追いつかない

建築科3年は7人で焼き鳥を販売した。価格は1本80円で3本入りと5本入りをカップに入れて販売した。

リーダーの宮内仁志君は「模擬店の定番商品でおいしく、需要が高いので焼き鳥にした。準備期間中は作業を分担して段取りよく進めることができた。当日は売れすぎて焼き鳥を焼くスピードが追いつかず、お客さんを待たせてしまった。利益はそれなりに出た。安全面や価格、調達場所など普段考

えることがないことを短期間で行なったので、改めて飲食業は大変だと気付いた。最後の工高祭はとても良い経験ができた」と話した。



1年土木科

フランクフルトを売る土木科の1年生

ゆでてから焦げ目を

土木科1年の模擬店はクラスの半分以上が参加し、「愛斗の炭火焼きフランク」と称してフランクフルトを1本200円で販売した。

リーダーの桑原愛斗君は「祭と言ったらフランクフルトということで、担任の岸本美子先生の提案に皆が同意して決定した。フランクフルトは一度ゆでてから炭火で焦げ目をつけ、パリパリ感が出るように焼いた。当日は長いお客さんの列ができ、周りの生徒も店を盛り上げてくれ、リーダーとしてやりがいを感じた。合計450本を販売し、大きな利益が出た。一方でトラブルもあり、本来は350本の販売予定だったが、完売して足りなくなり、急ぎょ100本を追加で調達することになった。土木科の助け合いの精神がしっかり生かされたおかげで、この模擬店は成功した」と語った。

400杯以上を販売



2年
情報技術科

トロピカルジュースを売る情報技術科2年生

情報技術科2年は8人で5種類の「トロピカルジュース」を1000円で販売した。

リーダーの奥山颯真君は「昨年も同じ商品を販売した。昨年は天気がよく売れ行きがとっても良かったので、今年もトロピカルジュースにした。友達にカップに絵を描いてもらったり、作る材料を机の上



1年
電子機械科

実習棟で焼きそばを作る電子機械科の1年生

液体ソースを使う

電子機械科1年は9人で「焼きそば」を400円で販売した。

リーダーの庄司泰輝君は「誰でも作り方が分かっている食べやすいので焼きそばに決めた。電気ホットプレートを使って実習棟で作った。市販で売られている麺と粉のソースではなく、麺が単体で売られているものと液体のソースを使った。調理の量が足りないため、お客さんを待たせてしまった。想像以上にお客さんが買ってくれたので、たくさん売れたことがうれしかった。食材が足りなくなってしまうから戻るとお客さんを待たせたのが反省点」と話した。